

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.001

釣行月日: 2017年06月01日(木) 05:30~16:50

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 49尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

祝解禁。土日に下見をして赤木川が良かったのでこの川に決めていた。5時前に谷口オトリ店に到着。赤木川にはもうポイントはほぼ釣り人がみえる。

別の支流へ逃げ込もうかと考えたが小口の橋の下が空いていたので入ることにした。水が更に減って釣りにくい状態。オトリを出すなりキラリ。しかし水中でバレたのか? 逆針を打ち直して再スタート。即掛かる。次もポイントに入れるだけで掛かる。ポイントまで泳がせる必要はない。10尾程掛かるともうこのポイントは駄目な感じ。下流へ少しずつ移動しながら数を稼ぐ。しかし一様に釣り人が抜いているだろうから厳しくなる。

空いているポイントはトロ場くらいしかなく大石のある深場をやってみる。

今の時期厳しいかなと思ったが掛かった。それも20cm程の良型。その他竿抜けポイントを探りながらの釣りとなったが夕方には釣り人もほとんど居なくなった。それでもオトリが変わると掛かりだし飽きない程度に釣りができてそれなりに満足できたかな。



No.002

釣行月日: 2017年06月04日(日) 06:30~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 16℃

河川: 熊野川・赤木川・東の川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 23尾, サイズ: 15cm~19cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95, 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

R168の夜中は時間制限の通行止めがある。日曜日くらいしか通れない。

土曜日の早朝5:30までは通行止めらしい。日曜以外は別ルートで行くしかない。

その影響か早朝にオトリ店に来られる人が少ないとか? 本流に行ってみる。川岸に着いたときに竿の上栓が無くなっている。辺りを見回しても見つかることができなかった。なんだか初めから嫌な気分。

仕掛けをセットして釣り開始。良い流れだなあ〜。何時もならオトリがす〜と泳いで10分内に掛かるのだが・・・

やはり時期的にはまだ早いのか? 岸辺では鮎の群れか波紋が動いている。所々で跳ねている。

居るには居るようなのだが・・・気配がない。200m程移動するも掛からない。

もうオトリの元気もなく悪循環。その頃、藤吉さんが橋の上から声をかけてくれた。場所を赤木川に変えることに。

小口に移動し気を取り直してやる。解禁から攻められていることもあり当たり前の所では掛からない。

オトリが一向に変わりそうもない。一か八か東の川へ行ってみる。

さらに川幅が狭く流れが細く水溜まりでオトリを泳がせるしかない。

しかし狭い範囲なので鮎が居れば掛かる確率が高くなるはず。予想通りオトリが変わる。10尾程掛け赤木川へ戻る。

天然に変われば泳ぎも変わるのかポツリポツリと掛かる。しかし、河原を歩いている途中バランス崩し転んでしまい竿の4番を折ってしまった。残りの竿は9.5mで使いにくいが何とか本日の釣りが続行できただけでも良しとしよう。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.003

釣行月日: 2017年06月10日(土) 07:10~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 55尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, Vゼロ: 5号3本錨

内容:

請川出合で竿を出してみる。7時頃だが釣り人居ない。少し深めの場所があったのでまずここから始める。当たり前の所では掛からず。いろんなポイントを探してみても5尾程追加。

途中、タカミヤさんが声をかけてくれた。他の場所を見てくるとのこと。

人が居ないので適度に場所を移動しながらの釣り。本流まで下って行く。

ポイントポイントで掛かり型も申し分ない。浅場でも掛かり結構楽しめる。

しかし、橋から下流や本流ではほとんど掛からず。昼頃には藤吉さんらも到着して各ポイントに、またタカミヤさんらも支流へ行くもほとんど掛からずこちらまで戻って来られた。皆さんそれなりに掛かってみたい。

ひとり通り竿を出したので上流へ歩き大塔川へ入ってみる。減水して青ノロもあり厳しそう。それでもオトリを入れられそうな場所を探してみた。浅場の波立ちのの瀬では掛かった。

夕方、元に戻り瀬肩の浅場で入掛かりを堪能できた。夕方には鮎が出来てきたようで昼間より掛かりが良かった。



No.004

釣行月日: 2017年06月18日(日) 05:05~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 12尾, サイズ: 8cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

上桂川の解禁日 何時もの栃本へ行くもすでに人が居るようでライトがチラチラ。数十メートル下流へ。瀬落ちで石の色も悪くないようだ。コツと針に触ったようだが・・・

泳がせど一向に掛かる気配がない。掛かったと思ったがバレでオトリ変わらず。結局4時間やって掛からず。

中ちゃんに携帯を入れてみる。周山大橋でやってるようでここも厳しいとか。とりあえず行ってみる。

瀬らしき場所は釣り人で溢れて入る余地がないくらい。橋の真下でようやくオトリが変わった。

しかしそれから掛からず。諦めて場所移動しようかと一旦竿を畳む。

京北橋上の瀬肩が空いたのでとりあえずやってみる。波立ちで16cmの黄色い鮎が掛かる。次も周辺で掛かる。

その後忘れたところに掛かる程度。人の少ない下流へ移動。日吉橋まで来てしまった。

橋の上流が空いていたので入る。良さそうな流れだが掛からず。橋の下へ移動し3尾追加したのみ。

追う鮎がまだ出来上がっていないのか、減水で厳しいのか苦労をした一日だった。

しかし、何とか掛かって良かった。水が数回出て梅雨明け頃なのか？



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.005

釣行月日: 2017年06月25日(日) 08:50~12:20

天気: 雨後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 番匠川 (大分県)

水況: 増水, 薄濁り

釣果: 14尾, サイズ: 8cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.3, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今年も解禁前の番匠川鮎釣り大会に参加。ここ数日雨で河川の状況が気になる。大会当日も雨の予報。

参加すべきかかなり悩んだ。遠征になるが雨だったら観光に切り替えればと安易な考え。

当日雨の中現地へ向かうも高速が霧で大分まで通行止め。

下道をひたすら南下し大分を過ぎたICに乗り、遅れることなく道の駅やよいに到着。

受付を済ませ開会式。雨がひどくなっている。それでも決行。

オトリは最後から2番目なので…気分的にのんびりできる。さあ何処へ入るか？

知っている場所は昨年入った所くらいしかない。

駐車場も広い大水車の瀬肩と候補があったし空いていたので一目散に向かう。

雨も降り続き水も増えてくるだろうから手前のヨレでやれば何とか行けるだろう考えた。

昨年のこともあり全体に太仕掛けにして開始。

手前から攻めるもサラ場なのに即掛からない。少し石の横を這わせたら反応が出て1尾め取り込む。

型は普通で仕掛けはワンランク落としても良かったかなあ。その後も順調に掛かる。水位が上がらないうちにピンポイントで攻めていこうかと思ったが釣りが荒くなるので止めることにした。

1時間で10尾くらい掛かっていたがオトリ缶を定期的を確認したら水位が段々と上がってきているのが判る。

濁りはまだなく行けそう。しかし当たりが遠のきゴミも流れてきて状況的には掛からなくなるだろうと感じた。

途中で状況を撮影させてくださいと言ってきた。大分文理大の人らで大分合同新聞社と共同で取材をしているとのこと。

ゴミが流れてくる前に来てほしかった。水も50cm程高くなったしもう無理と判断し早めに切り上げた。

結果は準優勝!? いろんなものを頂きありがとうございました。来年も開催するようなことを言っておられた。

今日は良い天気の下でやりたいなあ。



No.006

釣行月日: 2017年06月27日(火) 09:00~16:40

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 高津川 (島根県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 46尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

昨日は山国川へ入る予定だったが高水と濁りがありオトリ店の方もお勧めはしないとのこと観光に切り替えた。

話によると良く掛かっており大きいもので25cmはあるとのこと。梅雨明けには一度やってみたい。

観光は青の洞門, 稲積水中鍾乳洞, 緒方町の原尻の滝などを見て周った。本日は帰る予定で途中高津川へ寄ってみる。

道の駅シルクへ行きオトリ店の話から今年は去年の10倍? という。多い人は70尾ほど掛かっているらしい。

やる気スイッチが入ってきた。今回は道の駅かきのきむらで竿を出す。下流の瀬落ちで釣り人が居るくらい。

自分は降り口の瀬で始める。手前から攻めて行く。適度に掛かる。オトリ店の言っていたとおり今年は期待できそう。

周辺を攻めて46尾。トロでは時間などもあるかもしれないがあまり掛からず梅雨明け頃から面白くなりそう。

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]



No.007

釣行月日: 2017年07月02日(日) 08:40~16:40

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 足羽川(福井県)

水況: 薄濁り

釣果: 34尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

雨でほとんどの河川が増水濁りと状況的に厳しい。

何処か釣りのできそうな所をと悩んだ結果足羽川に行ってみることにした。

後藤藤吉さんらも来られるとのこと。美山地区の小学校辺りに入ってみる。

石は泥を被った所が多く食み痕のありそうな場所から始める。

流れの緩い所はほとんどと言ってよいくらい掛からない。

水当たりの良い瀬でしか掛からない。しかも同じところでは掛からない。

数もなかなか伸びないが型は良く当たりや引きは最高。大きいもので21cm。平均18cm~20cm。

ほぼ一日曇で雨もほとんど降らず何とか釣りが出来た。梅雨明け頃からは広範囲で掛かるようになり期待が持てる。

ただ水温が上がってきたらオトリの管理に気を付けないと。



No.008

釣行月日: 2017年07月08日(土) 08:30~16:20

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 高水, 濁無し

釣果: 4尾, サイズ: 15cm~16cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15, 0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

神吉地区の大会に参加。水況的には良さそうに見える。亀の甲橋下流に集合し大会開始。

オトリをもらって下流へ。石が点在する瀬で開始。どうも掛からない。

オトリを引き寄せてる途中で切れてしまう。あと養殖1尾となりもう後がない。

慎重に扱うも掛からない。ポイントを変えながらやっても掛かる気がしない。

瀬で泳がせてたらまぐれか掛かる。同じ場所を攻めてもう一つ追加。

その後掛からず結局順位など数える必要なく完敗。

皆で昼食を取りその後、気を取り直して上流へ側へ入る。岩盤が多い所。

しかし今日はどうもピントが外れているのか調子が狂ったまま掛からない。4時頃雷が鳴り風が吹いてきたので終了。

反省して次回は貧果にならないようしなければ。

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]



No.009

釣行月日: 2017年07月13日(木) 08:00~18:30

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 日置川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 50尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

先週の上桂川の絶不調からなんとかしたいとの思いで出かける。

今年も日置川は好調らしい。昨年やった安居周辺にしよう。下流から上流へ向かいオトリ店でオトリ調達。

年券を勧められたが他河川と釣行回数を考えて日券にした。

話によればまだトロでは縄張りが少ないようで厳しいかもと。

川原に降りて仕掛けの準備をしようとしたら竿栓が無いことに気付く。

来た道を戻り車まで行ってみたが見つからず。周囲を入念に探すと草むらに転がっていた。

ホッとし穂先を伸ばしたら9.5mの竿のつもりが9mの急瀬ではどうもやり辛い。

また戻り別の竿に交換。でも9mの竿しかなく残念。今日は大丈夫か? 嫌な予感。日置川では9.5m以上は欲しいところ。

それにしても暑すぎる。陸からやるには辛い。

瀬肩の脇の波立ちで天然に変える。水量が若干多く流速は結構あるので脇からやってポツポツ掛かる。

200m程の間を行ったり来たりで掛ける。数匹は当たりが判らず掛かっていたのがあった。

掛かった時の引きはすごく加えて風が少しあった為か糸鳴りがして釣りを十分堪能できた。

バレや蹴られもあり針に触れた鮎は結構あった。トロまで本格的に掛ければもっと数は出そう。今後期待大。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.010

釣行月日: 2017年07月16日(日) 10:20~18:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 北川川 (高知県)

水況: 濁無し

釣果: 10尾, サイズ: 16cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

遠征釣行。藤吉さんらが前日から入られており良型と引きに興奮のご様子。

自分も夜中に出発し早めに近くに到着し沈み橋などを見学。

9時頃に待ち合わせ目的地に到着。前日には人は居なかった様で今日は数人居られた。暑いので川に浸かり涼む。

良さそうなポイントを攻めるがなかなか掛かってこない。掛かったのは約1時間後。オトリが替わると今まで掛からなかったポイントでも掛かる。掛かると凄い勢いで走り引きは強くなかなか上がってこない。

枯葉等が流れてきたこともあり糸に傷が付いていたのかダブル放流。オトリが振り回されオトリが吹っ飛び掛かり鮎も外れて仕掛だけ飛んできたりとトラブルで数がいまいち稼げなかった。

しかし、それなりの収穫があったことにしよう。如何にトラブルを抑えることができるかで釣果に大きな差が出そう。



No.011

釣行月日: 2017年07月17日(月) 09:20~11:20

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 北川川 (高知県)

水況: 濁無し

釣果: 5尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今日も同じ河川。別のポイントでの釣り。最終日なので午前中までの予定。最初に元気な鮎を掛けることが必要。

やはり掛かるまでには50分くらいかかった。瀬の波立ちで辛抱して待つてようやく1尾掛かる。目掛かりで心配だったがトロ瀬で掛かる。3尾めの時にトラブル発生。オトリが振り飛ばされて掛かり鮎のみ飛んできた。

集中力が出ず根掛かり。股間もないのでポイントを変更, 3尾掛けて終了。

ここの釣り方も自分なりに判ってきた気がする。あまり数は望めないが当たりと引きで十分満足のできるどころ!?

往復1046kmで途中給油無しで釣行できたのは驚き。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.012

釣行月日: 2017年07月22日(土) 07:00~18:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 49尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

6月の釣行から約一ヶ月経過。もうそろそろ本流が掛かる頃、谷口オトリ店で確認したところ掛かるようになってきたとのことで行ってみることに。前日が平日の土曜日はR168号のある個所が5時30分まで通行止めとなっているようなので5時過ぎにその辺りに通るように家を出る。オトリを調達して本流へ向かう。流石に通行止めか上富田経由かで遅めに来られるのか、日置川等の好調河川に人が分散しているのか? 釣り人がほとんど見られない状況。その分のんびりと広範囲にポイントを探れる。まずは前回失敗したポイントでやってみる。今度は掛かるだろう、しかしオトリを雑には扱えないので慎重に泳がせてみる。所々で鮎が跳ねており小さくないので期待が持てる。10分程で目印が横に走る。ようやく掛かったと溜めてたら外れる。オトリの元気度が下がり大丈夫かなと心配げに慎重にオトリを送り出す。いろいろを考えながらやっていると再度当たり、今度こそ取り込みに成功。オトリが天然に変わると泳ぎも違い掛かりも早くなる。しかし、本来の本流のペースではなく掛かるポイントが見えてこない。

ヘチやトロではほとんど掛からず。広範囲に攻めて掛かるポイントを探っていく。右岸や左岸上流下流へと歩き回る。遠くから釣り人が向かってきているどうも知り合いか? タカミヤさんだった。

萩の瀬に入っていたが数尾で掛かりが良くないのでまわってきたようだ。その頃自分は22尾だった。

お連れの方も来られ本範囲に散らばって釣られてた。釣り人間隔50m~100m? といかに釣り人が居ないかが判る。昼ちよいと過ぎまでやって32尾とまずまず。鮎も平均20cm程あり当たりと引きは最高でナイロン0.175ではちょっと無理をすれば切れてしまうので慎重に溜めなければならない。強く引くと身切れもするし取り込みを確実にしなければ釣果は伸びない。午後は上流へ向かいポイント探索、浅い流れで瀬という波立ちはないがそれなりに流速がある。水深はそんなないけど良さそうなポイントなので泳がせてみると5尾程入れ掛かり。その後も続かと思ったが考えが甘かった。50尾までと今までのポイントを歩き回り18時30頃まで頑張っても1尾足らずで納得の行かない釣行となった。トロやヘチはもう少し後か?



No.013

釣行月日: 2017年07月23日(日) 07:20~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 60尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

民宿の前の大塔川にオトリを活かしているので早朝の釣りはまずこのポイントから開始。川湯温泉街なので昼間は川遊びで人が一杯になるので、その前にある程度掛かればよいと思ってやってみる。前日夕方投網をやっていたのでそれが気になる。案の定浅場では掛からず。吊り橋の真下で1尾掛かったのみ。次は瀬落ちの深場でやる。同じポイントでは掛からないものの居ると所では即掛かる。10時前までやって(粘りすぎた反省)川遊びのひとらが増えてきたので場所移動。請川へ移動。地元の家族らしき人が川遊びをしていた。影響のなさそうな距離をおいてオトリ缶を浸ける。その周辺で鮎が見えたので、また立つ位置がちょうど日陰になって暑さを避けられて少し体力を温存。トロ場にも関わらず追い気のありそうにもみえ取り合えず竿を出してみる。数尾掛かり鮎も見えなくなってきたので下流へと移動。瀬肩でやるも前日までにやられたか厳しい。波立ちで流れのきつい所で掛かるも数が出ない。橋の手前の流れのきつい川幅の狭い所の脇の石の色が良かったのでオトリを持っていくとまさかの当たり、鮎も大きく橋脚の掘れこみに突っ込まれなかなか上がってこない。その状況が何度も続いてハラハラドキドキで思った以上に釣果UP。

さらに橋の下流へ移動。小石底のトロ場で浅く見逃しやすいポイント。

とりあえず泳がせたのがラッキーで型は小型だが入れ掛かり。20尾程来たか?

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

もう曳舟の中には鮎がぎゅうぎゅう詰め。オトリ缶まで300mくらいあるので戻るのも面倒。
5時前までやって仕方なく戻る。夕方オトリ缶の場所でやりたかったので再度釣り開始。
思った程掛からなかったが6時までに何とか60尾となったところで納竿。
掛かったときに周辺を泳いでいた鴨が鮎に向かってきたのには驚いた。他にも空から鳶が狙ってるし。



No.014

釣行月日: 2017年07月29日(土) 07:00~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 44尾, サイズ: 15cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今回は日帰り釣行なので何処へ行こうかと迷ったけど車は熊野へ走ってしまった。本流でのびのびと竿を出せるのが良い。前回と違った場所を攻めてみる。坊主ハゼに連続2回やられオトリも元気度低下。

このままでは悪循環になりそうなので遥か上流へ移動。

先週掛かった場所で流れの緩い所でもう一つのオトリでやってみる。

上流へ良いスピードで進んでいる。途中で良い当たり。良く引くので慎重にためて下流へ向かい引き寄せて引き抜く。

20cmを超える鮎。やっとオトリを変えられ一安心。その後4尾程掛かるもトラブルなどあり数はあまり増えない。

それにしても暑すぎる。川に浸かったりして暑さを何とか凌ぐ。

掛かった鮎が大きく引きが強くて寄せるのと引き抜きに時間がかかってしまう。

それでも途中で身切れなのか外れてしまう。ハラハラドキドキ感満載。

昼過ぎに周りが暗くなってきて雷音がするので掛からなくなってきたので、支流の請川へ移動。本流では15尾。

釣り人が上流下流居るのでチャラ瀬・浅トロを中心に攻めてみることにした。最初は右岸側でやってたが途中で根掛かりしこれを機に左岸側から浅場のトロでやってみる。小型ながら良い当たりで良いペースで掛かってきた。

夕方はすごい当たりで入れ掛かりを楽しめ久しぶりの良い思いが出来た。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.015

釣行月日: 2017年08月04日(金) 06:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 67尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

安曇川はどうか? ちょい行ってみよう。オトリ店主の話によると20尾前後とのこと。今年は結構厳しいのか? いつもの船橋周辺から入ってみることにした。右岸側も整備され車も横付けできるようになっていた。橋の下は小石底が続いており掛かりそうもないので上流側へ入る。石裏の撚れに入れて程なくして掛かる。オトリには十分なサイズ。周辺で5尾強掛かる。適度に上流へ歩きながらポイントを探ってみる。

瀬のきつい所で良型が掛かる。粘っても数は出ないのでポイントを変えては数尾掛けて移動。

水管橋まで来て浅場で良く掛かった。これぞ湖産アユといった迫りと当たり。

人も要所に居て水遊びの人もいて何処でも入れることはなくポイント探しに苦労した。

全体的に小石で埋まって浅いので曳舟の置き場所にも苦労。夕方はきつい瀬で良型が掛かってくれた。

肝掛かりも多くオトリの循環があまりよくなった。



No.016

釣行月日: 2017年08月06日(日) 07:30~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: *****

水況: 平水, 濁無し

釣果: 90尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

毎年遠征してる川が気になり夏休みにも一応計画しているので下見も兼ねて日帰りはちょっときついけど行ってみることに。オトリ店で情報を聞いてみると掛かっているひとでは東か80尾とからしい。でも鮎は持ち帰り1/3程とか。早速何時ものポイントへ行こうと思ったら工事中で道が塞がっていた。事前に教えて頂いたちょっと先を曲がったら行けるそうなので、行けた。

着替えを済ませ、河原に着いて仕掛けをセットしようと、あれタモを忘れてるのに気づく。取りに戻る。

石の色も悪くなくこれは掛かると思いやる気が出てきた。しかし、即掛かるはずが・・・, オトリ操作が雑になったのか? ポイントの時合なのか? オトリを変えるのに予想外の時間がかかってしまった。

言えることは同じポイントでは数は出ない。広範囲に攻めることが必要。竿抜けポイントではすぐに掛かる。

午前中はポイント選定とオトリ操作に慎重になりすぎて三桁には無理な釣果の37尾。バラシも多くあまり冴えない。

午後はいつもの入れ掛かりポイントへ行ってみることにした。少し歩かないといけないので暑さでヘトヘト。良くみると河原に曳舟が2つ、下流にもひとつ。まあ自分がやるのはそのほぼ中間なので問題なさそう。段々と掛かるペースが上がってきた頃にゴロゴロと音が上流をみるとブルドーザーが・・・今から工事?

暫くすると対岸側に茶色い濁りが出てきておまけに草などのゴミが流れてきた。諦め上流へ戻ることにした。あまり広々としたポイントがなく水深も浅く曳舟を浸ける場所もままならない。水温も上がってきているのでいろんな意味で気を付けなくてはならないのが難点。根掛りも注意しながら細かくポイントを変えて釣り歩きでやってみた。

この釣り方が良かったのか良く掛かり90尾のキリのよいところまでやってみた。次回どう攻めるか。

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]



No.017

釣行月日: 2017年08月10日(木) 07:15~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 高津川(島根県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 24尾, サイズ: 16cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

オトリ店主人の話によると鮎がデカくハリス飛ばされるという。

仕掛けは大鮎用には準備しておらず比較的小さめなのが掛かるという柿木村へ。

掛かりは良くなくオトリを変えるのに50分ほどかかった。瀬肩へ移動するも掛かりもいまいち。さらにちょっと上のトコで付き鮎を見釣りでもポツリポツリと掛かる。大鮎に取り込みで格闘し一尾に時間を要してしまう。

ただ針ハリスが切れるトラブルが続出し掛かったであろう鮎が取れないので数も伸びない。

少しでも弱ると水温が高いためか色が変わり死んでしまう。結構厳しい。



No.018

釣行月日: 2017年08月11日(金) 08:15~18:00

天気: 曇時々雨, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 匹見川・高津川(島根県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 3尾, サイズ: 5cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2, 0.3

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日は匹見川に入ることにする。どうも石の色が良くないような気がする。今日もオトリを変えるに1時間程掛かる。

やはり数回程針ハリス切れなかなか次の鮎が掛からない。次に掛かったのは奇形の小型。

オトリも弱ってきてゴマカシの効くチャラ瀬に移動。

待望の当たりで掛かるも獲り込み中に切れ手元に残ったのは奇形の鮎。使っても掛からず。

2時前で漁協にオトリ調達に走るも売り切れ。道の駅に戻り何とかオトリを調達でき柿木村へ。

ここも厳しく2尾掛かったのみ。明日のオトリ確保のみ。特にハリス切れが目立つ。天気も冴えず釣り気分低下。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.019

釣行月日: 2017年08月12日(土) 09:00~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 高津川 (島根県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 8尾, サイズ: 18cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): キープ7.5号4本錨, チラシ・ヤナギ8号

内容:

確実に鮎を獲り込めるように仕掛けを釣具店に行き大鮎用対策を考える。

針ハリス太めのものとチラシを購入。これでどうなるか? まずは柿木村へ。まずは4本錨からスタート。

なかなか掛からず。2尾掛かる。その後やはりハリス切れ。

チラシに変更。掛かりは遅いが掛かればほぼ確実に獲り込める。鮎も弱ることなく元気に泳ぐ。根掛りも激減。

白泡では鮎も残っているのか意外と掛かる。午後からは左錨へ。ここの色は良くない。鮎もほとんど見えない。

掛かったのは3尾。失敗したのは4本錨で2回ハリス切れ。

チラシで掛けたが鮎には針が刺さっていなかった。何処へ行った2尾の鮎。

翌日に確認したが鮎は群れていてばらけていない。鮎もフラフラ状態で泳いでいた。

どうも高水温で鮎もあまりやる気ないみたい。後の2日は釣りを断念し観光に切り替えた。



No.020

釣行月日: 2017年08月17日(木) 07:15~17:30

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 四村川・赤木川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 27尾, サイズ: 16cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

四村川へ入る。最近水が出る度に川相が変わってしまう。苔も少し付いてきてるのか薄っすらと黄色くなっている。

チャラ瀬から始める。石裏の寄れで待つこと即一気に2m程下に目印が飛ぶ。

一瞬何が起こったのか? 思うくらいの出来事。しかし、掛かっているが逆針が外れていた。

もう一度送り出すと見印が反応し今度こそと思ったがまた外れた。3本錨から4本錨に交換し再度オトリを放つ。

やっと野鮎をゲットできた。その後1尾追加したがバレが連続で後が続かなくなってしまった。場所移動するも2尾追加したのみ。

トロ場は透明度が良く無風で丸見えなので鮎がすぐに散ってしまう。群れで掛からなそうなので諦め、赤木川へ移動。

小口に行ってみると川相は一転結構苔が付いている。

オトリを泳がせるや否やキラリと銀鱗が走る。20尾程飽きない程度に掛かる。

下には大石がゴロゴロした瀬がある。移動してやるもあまり掛からず。今日もすっきりとしない天気。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.021

釣行月日: 2017年08月18日(金) 08:20~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 23尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日も昨日の赤木川で入念にやってみようと思いついてみる。

流石に昨日掛かった場所はほとんど掛からず。ヘチ際などで掛かる。ペースも良くなり時間が過ぎていく。

場所移動してもこれといった所もない。相変わらず坊主ハゼの猛攻は健在。

仕掛けもクシャクシャにされ気分的にもイラつく。

掛かった鮎が確実に獲ればもう少し釣果が出るだろうけど……。今日もしっくりしない釣行となった。



No.022

釣行月日: 2017年08月19日(土) 08:00~16:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 10尾, サイズ: 17cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨夜は大村屋で常連釣り客の方々と釣り談義。何処も厳しい状況は変わらないようだ。今回も朝一は水遊びの人が少ない時間帯を狙って吊り橋の下で深トロでやってみる。ゴミに根掛り1尾損失したが獲り込めたのは6尾。型も18cm程の物。その後請川へ移動し行ってみるも小石が増え川相が以前よりも悪くなった。

苔は付かけで鮎は見えるが追う鮎は見られない。上下歩き回ったが瀬では掛からない。

トロでは本格的ではないが掛かった。追うようになるのは数日後なのか? 天気が安定してほしい所。

雲行きが悪くなってきたので早々と納竿。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.023

釣行月日: 2017年08月27日(日) 07:00~16:50

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 北山川・赤木川(和歌山県)

水況: 北山川笹濁り, 赤木川濁無し

釣果: 24尾, サイズ: 16cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

北山川の年券を買ってまだ釣行していなかった。九重, 百夜月あたりに入ってみる。

思った以上に濁りがある。十津川水系とあまり変わらないじゃん。浅場では苔ベッタリ付いている掛かるか?

3時間で1尾とは情けない。食み痕はあるけど追う気配が無い。

時間か? 昼まで待つてられないので他の釣り人は入ってくるけど場所変更。小場所狙いの赤木川へ行ってみる。

何時もの小口辺りへ。使ったオトリは弱々しくポイントへなかなか泳いでくれない。

未使用の養殖オトリでなんとか頑張ってもらおう。やはりオトリの泳ぎが軽快, 程なくして掛かる。小ぶりであるがこれで何とか循環が続いてほしい。次も掛かり段々とオトリの回転が良くなってきた。

ただ, ポイントは限られていてヘチが殆ど。釣り人が居ないので下流の瀬に移動。

ポツリポツリであるが意外と掛かってくれた。

とにかく坊主ハゼには仕掛けをクシャクシャされ何度も張り直す必要があった。もっと掛かるところはないのか?



No.024

釣行月日: 2017年08月31日(木) 06:40~17:50

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 有田川(和歌山県)

水況: 薄濁り

釣果: 52尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

有田川で掛かっていると知人から聞き行ってみることに。

そういえば年券まだ買ってなかった。まあこれからが良いのかも? 国魚で券とオトリを買ってブドウ園へ。まだ濁りがあり浅場の石をみると色がいまいち良くない気がするが早朝で日が当たっていないからか? 昔こんな感じではなかった様な... 濁りが長期に続いていて水温も高いから? 水温を測ると25℃と高い。オトリがもつかなか?

浅場を中心にやってみる。すぐに掛かるもバレてしまう。

次に掛かるまで20分程経過。13cm程の小型。鼻カン通すと痙攣してしまう。今後の釣りがどうなることやら?

オトリが変わると掛かるペースが上がるも小型が多く循環があまり良くない。

5尾掛かると次が掛からず場所を少し変えまた5尾程かけてはの繰り返し。連続バラシが続くこともあり溜息ばかり。

数が思った以上に増えず昼までに約20尾。

午後からも同じようなペース。吊り橋まで往復2回程して掛かる場所と釣り方を確認。

夕方引き釣りで思わぬ掛かり方で少しハイペースとなり数も伸びた。

泳がせだけでは掛かりにくいものが引き釣りで掛かってくるのが判ったのがちょっと遅かった。手前の浅場では殆ど掛からず。鮎はウジャウジャ居るが小型が中心となるが彼岸花が咲く頃は掛かるようになってくることを期待。

納竿の頃には強かった風も治まっていた。なにこれ? 一日釣り人殆どいなかった。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.025

釣行月日: 2017年09月03日(日) 08:20~16:50

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 大又川 (三重県)

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 46尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

ダム湖産の鮎として掛かるところだそうで、藤吉さんに案内をお任せしてポイントへ。

先週は良く掛かったとのこと。今回はどうだろう? 平瀬の続く場所でやってみる。

掛かる鮎は小型で最下流というこもあり時期的に産卵ももうすぐといった所。

曳舟に入れておくとオスは黒くなってしまう。一時過ぎまでやって20尾。

先週良かった場所に移動してみる事になった。場所的にほんの少し上流になるのだがまだちょっと若い。

掛かるペースも良く時速10尾と驚き。もうこの河川は今年はほぼ終了か? 風が結構あり一日やってると肌寒かった。



No.026

釣行月日: 2017年09月10日(日) 07:30~17:20

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 26尾, サイズ: 14cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

先日、大村屋のヒロ君から熊野本流が掛かってるとのことで予定を急遽変更して行ってみることにした。途中、果無集落を見学してからと思って寄り道した。しかし霧が出て背景の山々が見れず霧が晴れるまで待つてられず熊野へ。

何時もより釣り人が多いのか? 話によると北山でガマの親睦会があるとのこと。

何時もの所へ行く。また川相も変わっていた。増水後鮎は残ってるのだろうか?

最初の2尾はすぐに掛かる。その後釣り人が増えてきて場所を探りながら様子を見る。しかしあまり掛からず。

掛かる鮎時は殆どが20cmを超えるものばかり。引きが強く獲り込むのに時間を要してしまう。

前回よりもトロでも掛かるようになってきたが掛かるペースが遅い。ただ、掛かったときにギューンと竿までのされ水中糸が限界まで伸び切ってしまうような引きを楽しめたのは良かった。もっと楽しみたかった。

掛からない時の過ごし方をどうしていくかの勉強にもなると、ある程度の辛抱も必要かと。

高津橋下流にはハメが入っていた。こんなに早かったけ?



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.027

釣行月日: 2017年09月15日(金) 12:30~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川 (富山県)

水況: 濁無し

釣果: 27尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): 一角: 6号4本錨

内容:

遠征のつもりが雨が降っていないのに上流側で降ったのか濁りが増してきたので釣りはやめて観光でもしようかと隣の河川に行くと濁ってはいないが石に苔は付いてなさそう。

後に来られた藤吉さんは別の河川を偵察してもらったが駄目のよう。

高速を走れば昼頃には釣りができそうなので行ってみる。流石に釣り人は多く入る場所の選定に悩む。

降り口のトロ瀬が入れそうなのでまずはここから開始。

石は食み痕だらけで手前に鮎が泳いでいるのが見える。このような状況がなんだか懐かしく感じられる。

泳がせば時速10尾くらいは掛かる。しかし逆光で風もあり曇り空で見印が見えず苦勞する。

せっかく来たので場所を変えてみるもあまり掛からず。

網の人らもいて何でもありの状態であまり落ち着いてのんびりとは出来なかった。

釣りが出来ただけでも今日はこれで良しとしておこう。でも腰まで水に浸かると寒くてやってられない。



No.028

釣行月日: 2017年09月16日(土) 08:50~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 14℃

河川: *****

水況: 薄濁り

釣果: 20尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨

内容:

昨日濁っていた河川へ行ってみると濁りはかなり薄まり食み痕も確認でき入ってみることにした。

水温14℃とかなり冷たい。1尾掛けるのに約1時間かかった。

オトリが変わると回転が良くなったのかポツポツと掛かる。

場所も限られているのか泳がせれば勝手に掛かるようなことはなかった。歩き回って何とか20尾。

太陽も出ず一日水温上がらず。これでは厳しいだろうな。

7月末くらいから雨続きで川が落ちていない状況が続いていた感じ。どうなってしまったんだろう今シーズン。

台風の接近で釣行は本日まで。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.029

釣行月日: 2017年09月23日(土) 09:10~15:00

天気: 雲, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 笹濁り

釣果: 18尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

有田若鮎クラブのオフ会。エリアは曲りからダム上上流までということで15時までの釣果。サイズによる加点もあるので単なる数だけでは上位になれない。また過去に優勝したらハンディがあるのでさらに難しい。

濁りはきついがブドウ園周辺に入る。左岸側から竿出す。

1尾めはオトリを送り出し蛇行しながら目的地辺りに行ったところで当たり。

これはいいぞと思ったけど同じところでは釣り返しが効かず。自分の掛かる鮎は安曇川サイズ。しかし当たりは如何にもといった感じだったのにタモに入ったものはオトリには?と循環が悪く貧果で終了。

終了後の宴会は鮎の話で盛り上がった。



No.030

釣行月日: 2017年09月24日(日) 08:10~17:00

天気: 雲, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 日置川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 25尾, サイズ: 12cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

濁りのない日置川にしようと思ひ出かける。有田川からだと約1時間で行けるようになった。もう秘境という時代ではなくなった。釣り人も多いことだろう。ワルゴケや高瀬ではガマの親睦会や他の例会もあるようなので周辺は混雑が予想される。やはり下流側へ行くことになるのか? 入川しやすい安居に決めた。自分含め3人。瀬肩のトロからやるも空振り。ずっと下流の浅場に行きようやく掛かったのは約1時間をまわっていた。しかもチビ鮎。昨日の有田川で掛けたチビとほぼ同じサイズ。これをオトリにするしかなく慎重に泳がせる。天然に変われば泳ぎも軽快でオバセで良く泳いでくれるので次も掛かるのは早い。サイズも少し上がり何とか循環していった。

上流から下流と何回か往復して掛かったのは早瀬だった。期待してたトロでは殆ど掛からず数も伸びなかった。

しかし、早瀬での掛かりには気持のよい見印の飛び方で引きも強く少しの間楽しませてもらった。

トロで掛からなかったのは何故なのか? 今の時期ならヘチでも掛かるのだが?・・・納得の行かない釣行であった。



2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

No.031

釣行月日: 2017年10月09日(月) 06:50~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 薄濁り

釣果: 70尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

連休最終日で釣りに行けるようになったので有田川へ。

久しぶりのボダイ周辺。藤内オトリ店も久しぶりで話によると昨日は大勢の釣り人で賑わっていたとのこと。

内心厳しいかもと思ったがマイポイントへ。先行者が降り口でやっていたので下流の浅場へ入ることにした。相変わらずの濁り。まずは手前の浅トロで泳がせてみる。野鮎が見えないなあと思っていたけれどオトリの後ろをみてたら野鮎が付いていた。2, 3回蹴られようやく掛かったのは15分経過後だった。今日も厳しいかな? オトリが替わって6尾程テンボ良く掛かった。その後広範囲に攻めてみたが流れの強そうな瀬や波立ちのあるチャラ場では殆ど掛からず。時間と場所で釣れ具合が変わる様で掛からなくなったら場所を移動しやってみた。ただ、先行者は途中場所移動でいなくなり見渡す範囲では誰も見えない。いわゆる貸し切り状態。このこともあり掛かるペースも上がり手前の浅トロで見釣り。深トロですべての目印を浸けて過剰なオバセで泳がせると飛び掛かってきたりと思わぬ掛かりに目覚める。

しかし、結果的に70尾となったが納得のいく釣りでなかった。

もう少し早くやり方が判っていれば10尾程釣果UPしてただろう。



No.032

釣行月日: 2017年10月12日(木) 07:45~16:40

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 80尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

明日から天気が崩れそうで、もしかしたら一気に錆が進むと思うので、今のうちに行っておこうと出かける。

行こうと思いながら行けていない古座川にしてみる。

日置川も考えたが連日人気ポイントで攻められているからパスしてみる。

古座川も高速道路が近くまで出来ているのでかなり近くなった感じ。

早朝は潜水橋周辺に霧が出て幻想的な風景となっていた。

7時頃にいつものオトリ店に行くも不在だったのか? 諦め少し上流の店で券とオトリを購入。

近場で釣れるところを聞いたところこの辺りの流れの緩いところで掛るとのこと。

昨日ここで2時間で12尾だったので荒れているから他のポイントが良いかも? と。

鶴川橋周辺が車も止めやすいし歩いてポイントを変れるので行ってみる。

橋の下流では笹立てを設置しているので橋の上流へ行ってみる。川幅は広く一面浅瀬ポイント。

今の時期では絶好のポイント?。前回の有田川と同様、流れの緩やかな所、袋になった辺りを求めて歩く。

金木犀の香りが漂う中、左岸側の岸周辺から攻めてみる。

養殖を2m程離れたところに石が水面から出ているところがありその辺りまで行くなりキラリと閃光が走る。

もう掛かった。これはもしかして?。最初は掛かるペースは良くないが安定して掛る。

しかし当たりが殆ど感じられず掛ったのが判らないことが多かった。

10時前後だったか対岸の上流側に釣り人がやってくる。しかし影響する程の距離ではない。カモシカの瀬辺りか?

昼までに15m程の範囲で30尾程。昼からは5m程ずつ下がりながらやる。

何だかいつも竿が曲がった状態が続いている感じで久しぶりに楽しめた。引きも強くそれなりに引き応えがあり満足。

ただ、もう錆が少し出かかったのもあった。今回は左岸側のみで右岸も攻めたかったが時間的に回り切れなかった。

明日以降の天候で一気に錆が出るようになるかも? もう少し釣りができるかもしれない。

2017年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 34.2尾 総釣果: 1,095尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 24cm]

見渡す限り釣り人が点に見える程いない状態。確認できたのは2人。

